

女性優先車両試験導入における混雑状況の検証結果について

2021.2.19 交通局運行管理課

1 検証結果

女性優先車両試験導入にあたり、女性優先車両と一般車両の混雑状況に不均衡が発生するのではないかという懸念があり、また、試験導入期間中に実施した2回の利用者アンケートにおいて、女性優先車両導入に反対と回答された理由として、「一般車両が混雑する」ことを挙げられた方が最も多かった。

また、1回目のアンケートにおいて女性優先車両を導入したことで、車両が混雑するようになったと感じている男性が約30%おり、約18%がそれを好ましくないと回答している。

そこで、実際に導入前と導入後の混雑状況にどのくらい差が発生するのか、車内カメラを活用して調査したところ、2両編成車両の場合、先頭車両の乗車率が高く、試験導入の前後で比較したところ、乗車人数の不均衡について大きな変化は見られず、むしろ女性優先車両を導入することで、混雑率の不均衡が解消する結果となった。

2 混雑状況の比較

導入前の9月10日（木）と導入初日の9月14日（月）、1か月後の10月15日（木）、2か月後の11月12日（木）、3か月後の12月10日（木）、4か月後の1月14日（木）を調査し比較を行った。

①比較方法

- ・車内カメラ映像から、対象車両の1両目と2両目の乗降人数をカウントし、ある区間における1両目と2両目の車内の乗車人数を比較。
- ・調査する車両は上下線8本のうち上り2本、下り2本の計4本を抽出。
- ・車内が混雑する区間である新水前寺駅前電停（上り）及び熊本駅前電停（下り）を発車した際の車内の人数を確認した。

②乗車率結果

調査した4本全てが導入前の時点で1両目のほうが2両目より乗車人数が多く、混雑している状態であった。

導入初日は全ての本数において、1両目と2両目の乗車人数の差が大きく増加したが、日を追うごとにその差は解消され、4か月後には、1両目と2両目の乗車人数の差が増加した本数は1本で3人の増、他の3本は導入前より減少し、1両目と2両目の混雑差が解消する結果となった。

女性優先車両の認知度が高まるにつれて、女性優先車両の利用者が増加し、混雑率の不均衡は解消したものと考えられる。

【女性専用車両の乗車人数差比較】

車両①：A系統上り 新水前寺駅前電停 7時36分発車

新水前寺駅前 上り 7時36分発車時	1両目 (一般車両)①	2両目 (女性専用)②	乗車人数差 ①-②
9月10日 (導入前)	34人	30人	4人
9月14日 (初 日)	47人	35人	12人
10月15日 (1カ月後)	36人	37人	▲1人
11月12日 (2カ月後)	37人	29人	▲4
12月10日 (3カ月後)	35人	26人	9人
1月14日 (4カ月後)	20人	20人	0人

車両②：B系統上り 新水前寺駅前電停 7時57分発車

新水前寺駅前 上り 7時57分発車時	1両目 (一般車両)①	2両目 (女性専用)②	乗車人数差 ①-②
9月10日 (導入前)	36人	31人	5人
9月14日 (初 日)	38人	33人	5人
10月15日 (1カ月後)	31人	29人	2人
11月12日 (2カ月後)	50人	42人	▲8
12月10日 (3カ月後)	48人	36人	12人
1月14日 (4カ月後)	40人	32人	8人

車両③：A系統下り 熊本駅前電停 7時22分発車

熊本駅前 下り 7時22分発車時	1両目 (一般車両)①	2両目 (女性専用)②	乗車人数差 ①-②
9月10日 (導入前)	18人	12人	6人
9月14日 (初 日)	26人	13人	13人
10月15日 (1カ月後)	23人	13人	▲10
11月12日 (2カ月後)	17人	10人	7人
12月10日 (3カ月後)	16人	14人	2人
1月14日 (4カ月後)	17人	16人	1人

車両④：A系統下り 熊本駅前電停 8時3分発車

熊本駅前 下り 8時3分発車時	1両目 (一般車両)①	2両目 (女性専用)②	乗車人数差 ①-②
9月10日 (導入前)	33人	18人	15人
9月14日 (初 日)	31人	16人	15人
10月15日 (1カ月後)	31人	22人	▲9
11月12日 (2カ月後)	26人	24人	2人
12月10日 (3カ月後)	24人	23人	1人
1月14日 (4カ月後)	定期検査により欠車		